

令和4年度 第2回  
藤島地域教育振興会議 次第

日時：令和4年11月17日（木）午後6時30分～

会場：藤島地区地域活動センター大ホール

1 開会

2 挨拶

鶴岡市教育委員会教育長

3 事例研修・質疑応答

(1) 酒田市の小中一貫教育の取組みについて

講師：酒田市教育委員会学校教育課 課長補佐 齋藤正光 様

(2) 新庄市立萩野学園の取組みについて

講師：新庄市立萩野学園 校長 鈴木英樹 様

4 その他

5 閉会

令和4年度第2回藤島地域教育振興会議 出席者名簿

■委員

区分	No	役職	氏名	備考	
組織選出	自治会等役員	1	藤島地区自治振興会長	齋藤 昭彦	
		2	東栄地区自治振興会長	叶野 明美	
		3	八栄島地区自治振興会長	成田 信一	代理出席：副会長 石川 豊明
		4	長沼地区自治振興会長	高橋 俊一	
		5	渡前地区自治振興会長	近藤 直志	
	児童生徒保護者	6	藤島小学校PTA会長	菅原 治	
		7	東栄小学校PTA会長	今野 貴行	
		8	渡前小学校PTA会長	加藤 正広	
		9	藤島中学校PTA会長	中田 英幸	代理出席：副会長 丸山 裕司
	未就学児保護者	10	いなば幼稚園保護者会長	上林 祐樹	
		11	藤島こりす保育園保護者会長	佐藤 謙	
		12	藤島くりくり保育園保護者会長	安在 堅	
	公共的団体	13	主任児童委員代表	前田 範子	
		14	藤島地域スポーツ少年団長	渡部 高生	
個人選出	有識者	15	東田川文化記念館長	遠田 良弘	
		16	藤島地域振興懇談会公募委員	井上 佳奈子	
		17	藤島地域振興懇談会公募委員	齋藤 直美	
		18	Hisu 花ワークショップメンバー	武田 洋	

■市関係者

役職名	氏名	備考
教育委員会 教育長	布川 敦	
教育委員会 教育部長	本間 明	
藤島庁舎 支所長	成田 譲	

■事務局

役職名	氏名	備考
教育委員会 参事兼管理課長	清野 健	事務局長
教育委員会 学校教育課指導主幹	渡邊 智	
教育委員会管理課 庶務主査	奥山 真裕	
教育委員会学校教育課 指導専門員	落合 正幸	
藤島庁舎 総務企画課長	小林 正雄	
藤島庁舎 市民福祉課長	長谷川 郁子	
藤島庁舎総務企画課 地域まちづくり企画調整主査	齋藤 優	
藤島庁舎総務企画課 主査	後藤 春雄	

令和4年度 第2回

藤島地域教育振興会議席次

ステージ

講師席

齋藤正光 講師  
鈴木英樹 講師

(司会進行)

丸山裕司 代理 高橋俊一 委員	近藤直志 委員長 齋藤昭彦 委員	叶野明美 委員 石川豊明 代理
遠田良弘 委員 前田範子 委員	加藤正広 委員 菅原治 委員	今野貴行 委員 佐藤謙 委員
武田洋 委員 上林祐樹 委員	安在堅 委員 渡部高生 委員	齋藤直美 委員 井上佳奈子 委員

布川教育長  
本間教育部長  
清野参事兼管理課長  
渡邊学校教育指導主幹  
成田支所長  
小林総務企画課長

記者席 (4席用意)

齋藤 総務企画課主査	後藤 総務企画課主査	長谷川 市民福祉課長	落合 学校教育課指導専門員	奥山 管理課主査
------------	------------	------------	---------------	----------

傍聴席 (32席用意)

受付

入口

# 酒田の小中一貫教育

図 学校教育課 指導係 ☎26-5775

酒田の小中一貫教育で目指していることは？ どんな力を身につけたいの？ どんなことに力を入れていくの？  
来年度から酒田市の全小・中学校で実践していく小中一貫教育についてご紹介します。

## 酒田市小中一貫教育ビジョン

### VISION 01 教育目標と目指す人間像

学び合い ともに生きる  
公益のまち酒田の人づくり

自ら学び、考え、時代の変化に  
対応できるたくましい人

自分と他の人を大切にし、  
多様性を認め支え合う人

ふるさとの自然・歴史・文化を愛し、  
公益の心でこれからの社会を担う人

### VISION 02 身につけたい力 酒田まなびの樹

教えるべき  
ことを教える



挑戦させる  
考えさせる  
経験させる

(「指導」と「支援」の動きかけ)



**葉の力：「知識及び技能」**  
生きて働く概念として日常と  
関連づけながら、学びを更新していく力

**幹の力：「思考力・判断力・表現力等」**  
未知の状況にも、これまでの学びを  
活用しながら考え対応していく力

**根の力：「学びに向かう力、人間性等」**  
よりよい社会や幸福な人生に向けて、  
学びを生かしていく力

自律する力 尊重する力 創造する力

樹の成長にとって特に重要なのが、  
地面の下で樹を支え、土からの水分  
や栄養を吸収して広がっていく  
「根っこ」です。

### VISION 03 9年間を貫くまなびの軸

中学校区ごとに「課題の分析」や「身につけたい力」について協議し、目指す子ども像を共有します。「重点教科」や「軸となる特色ある取組み」を検討し、系統性・一貫性のある9年間の教育課程を創り上げていきます。

一人一人に応じた  
学びの保障と協働的な学びの  
充実を図る視点

主体的な経験や他者との  
かわりから豊かな  
「根っこ」が育っていく視点

目指す子ども像  
の共有

系統性・一貫性のある  
9年間の教育課程の  
実施

- 学力調査や生活調査などの結果を小・中学校で共有し、協働で分析しながら、課題や身につけたい力、指標等を明確にします。
- 現状把握から明らかになった課題の解決に向けて、9年間で育みたい子ども像を明確にし、学校・家庭・地域で共有します。
- 教師が「育てる」から、子どもが「育つ」という共通理解のもと、他と比べるのではなく、一人一人の9年間の成長を評価・支援します。
- 「重点的な取組」(各教科・特別活動・総合的な学習・道徳及び防災教育やキャリア教育等)を中心に9年間の教育課程を系統的に編成・実践していきます。

- 学校間の教員の交流を推進するとともに、小学校・中学校それぞれの指導の良さを生かしながら、一貫性のある学習スタイルを構築していきます。
- 地域の特色ある資源・外部人材の活用や、一人一台端末等のICTの活用、異年齢交流を通じた体験活動など、子どもの学び・かわりの機会を広げていきます。
- 小中一貫教育の効果について指標等をもとに検証しながら、目指す子ども像の実現にむけての方策を検討・改善していきます。

## 小中一貫教育が本格的に始めるとどんなことがあるの？

具体的にはどのような取組みが考えられるか

取組みの例	異学年交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校の合同授業、総合的学習の異学年実施(例：中学2年生と小学4年生など)</li> <li>・中学校行事への小学校の参加</li> <li>・小学校の陸上競技等における中学生の指導参加</li> </ul>
	部活動・クラブ活動の交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年児童の中学校部活見学の機会増や練習参加などの機会設定</li> <li>・中学生による小学校のクラブ活動への参加、協力又は支援</li> </ul>
	児童会・生徒会の交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校合同での児童会・生徒会活動及び運営</li> </ul>

取組みの例に限らず、それぞれの地域の特徴を活かした活動が想定できます。

7/8

### 志水宏吉先生の講演

今年度酒田市の教育参与としてご助言いただいている大阪大学の志水宏吉先生より講演



をいただき、小・中学校の先生方で大切にしたい「まなびの樹」と「教師の役割」について研修を行いました。

令和4年度 藤島地域教育振興会議 学校経営説明資料

# 笑顔あふれる学校を目指して



# 萩野学園学区の概要

## ○萩野地域

31地区 1221世帯

新庄市の北部の農村地域

泉田小、萩野小、昭和小

萩野中

# 泉田小学校



# 萩野小学校



# 昭和小学校



# 萩野中学校



# 統合・開校までの経緯

- 平成18年～ 新庄市5中学校区ごとに小中連携・一貫教育の実践
- 21年 8月 萩野中学校区より「施設一体型小・中一貫教育校」の設置要望書が提出される
- 22年 5月 新庄市立小・中一貫教育校基本計画策定委員会 設置
  - ・「施設一体型小中一貫教育校」のあり方の検討
  - ・学識経験者、学校関係者、保護者、地域の代表者 等
- 24年 3月 「新庄市小・中一貫教育校基本計画」  
5月 萩野地区小中一貫教育実施計画策定委員会 設置
  - ・校名、校章、校歌、制服等検討委員会     ・カリキュラム等検討委員会
  - ・施設設備等検討委員会泉田、萩野、昭和各小学校区に学校づくり協議会 設置
  - ・地域として、未来の学校のあり方について検討
- 27年 4月 施設一体型小中一貫教育校 総称「新庄市立萩野学園」開校
- 28年 4月 県内初の義務教育学校「新庄市立萩野学園」開校

# 萩野学区の児童・生徒数の推移

	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
小学校	289	282	268	258	246	240	239	239	239	230
中学校	164	156	167	150	154	142	141	135	133	124
合 計	453	438	435	408	400	382	380	374	372	354

# 令和4年度の学校教育目標と教育の重点

## ○ 学校教育目標

「9年間の関わりの中で、望を持ち、自らを高め、  
真摯に、たくましく生きぬく萩野の子どもを育てる」

## ○ 学校経営の重点

- (1) 校内研究主題のもと、子ども同士の主体的な学びと家庭学習の充実を通して、学力の向上を図る。
- (2) 学校生活全体を通して子どもの道徳性を高め、いじめの未然防止に全力を挙げる。
- (3) いのちと健康に関する指導を充実して、総合的な体力の向上を図る。
- (4) 子ども個々のニーズに対応した特別支援教育の充実と、全校児童生徒の心の安定を図る。
- (5) 校務を精選し、教職員が子どもと向き合う活動の充実を図る。

# 萩野学園校訓

**望**をもと  
(夢や目標を持ち)

**校訓**

**友**をつくろう  
(人とかかわり  
合いながら)

**汗**をながそう  
(一生懸命努力を  
重ねている)

# 発達段階に応じた学年区分

- 4-3-2ブロック制

6-7のスムーズな接続



前期 教頭・教務

中期 教頭・教務

後期 教頭・教務

1年

2年

3年

4年

5年

6年

7年

8年

9年

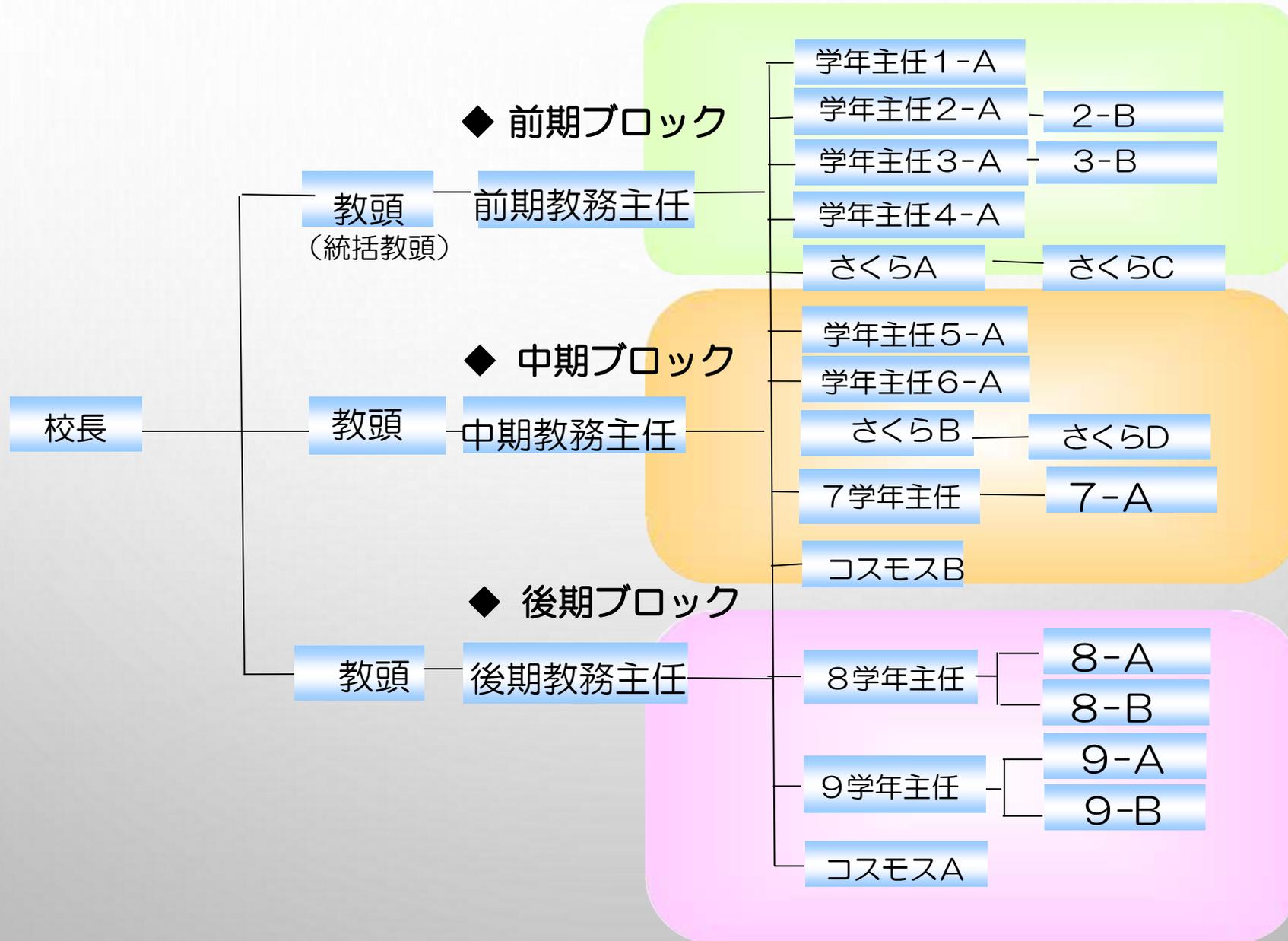
桜萩会（生徒会）は8年生が主体。9年生はアドバイザー

# 学年・ブロックの仕組

1～4年

5～7年

8～9年



# 校務分掌

- 総務部
- 教務部
- 学びの創造部
- 育ちの創造部
- いのちの創造部

- ・各創造部に担当教頭
- ・各ブロックからバランスよく職員を配置

# 日課・週時程

1～4学年	活 動	5～9学年
～ 8 : 15	登校完了	～ 8 : 15
8 : 15～ 8 : 30	朝読書(朝学習)	8 : 15～ 8 : 25
8 : 30～ 8 : 45	朝の会	8 : 25～ 8 : 35
<u>8 : 45</u> ～ 9 : 30	1校時	<u>8 : 45</u> ～ 9 : 35
9 : 35～ 10 : 20	2校時	9 : 45～ 10 : 35
10 : 20～ 10 : 40	中間休み	
<u>10 : 45</u> ～ 11 : 30	3校時	<u>10 : 45</u> ～ 11 : 35
11 : 35～ 12 : 20	4校時	11 : 45～ 12 : 35
12 : 20～ 13 : 00	給食	12 : 35～ 13 : 15
13 : 00～ 13 : 35	片付け・休憩	13 : 15～ 13 : 35
13 : 35～ 13 : 50	清掃	13 : 35～ 13 : 50
<u>13 : 55</u> ～ 14 : 40	5校時授業	<u>13 : 55</u> ～ 14 : 45
14 : 45～ 15 : 30	6校時授業	14 : 55～ 15 : 45
15 : 35～ 15 : 50	終わりの会	15 : 55～ 16 : 10
	部活動	～ 17 : 50
～ 16 : 00	最終下校	～ 18 : 05

# 令和4年度～ 学校経営の重要課題

心の安定

学力の向上（ICT機器の活用）

# 心の安定がすべての基本

- 基本的な考え方と取り組み

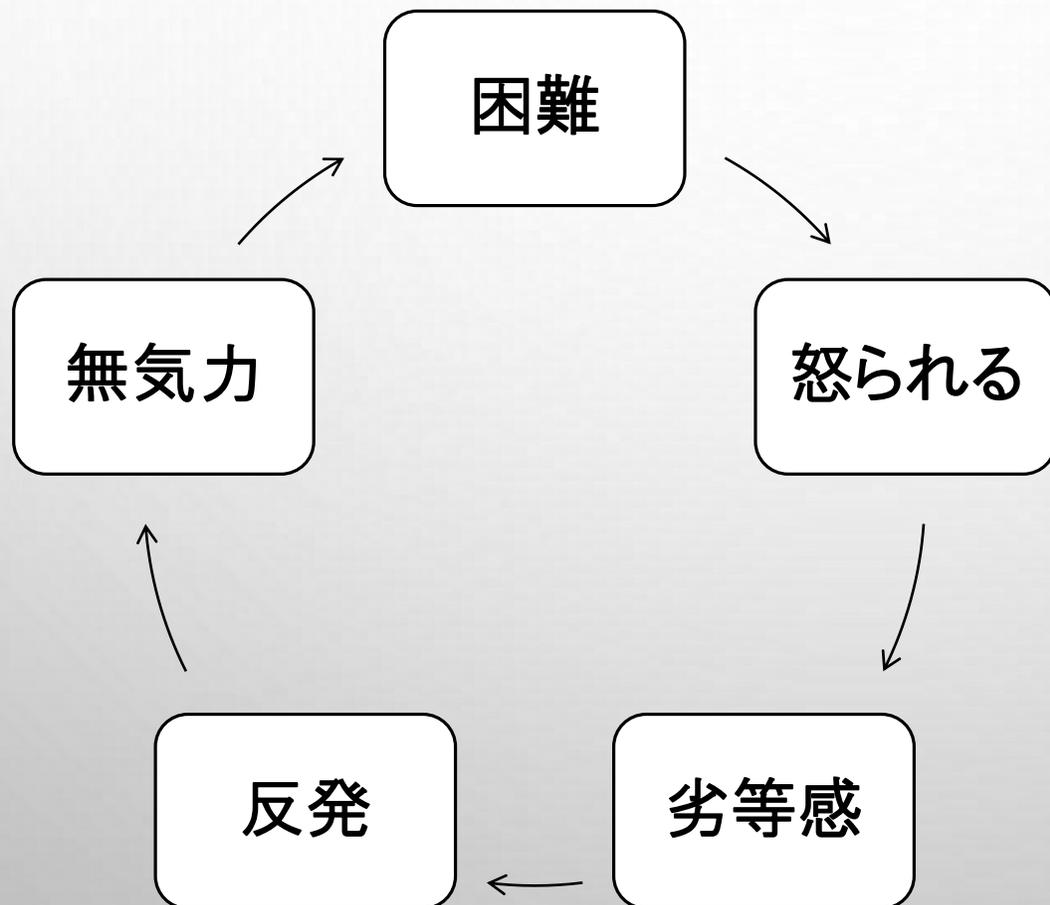
社会性  
人間性の育成

学力の向上

身体の健康  
体力の向上

心の安定 = すべての基本 (土台)

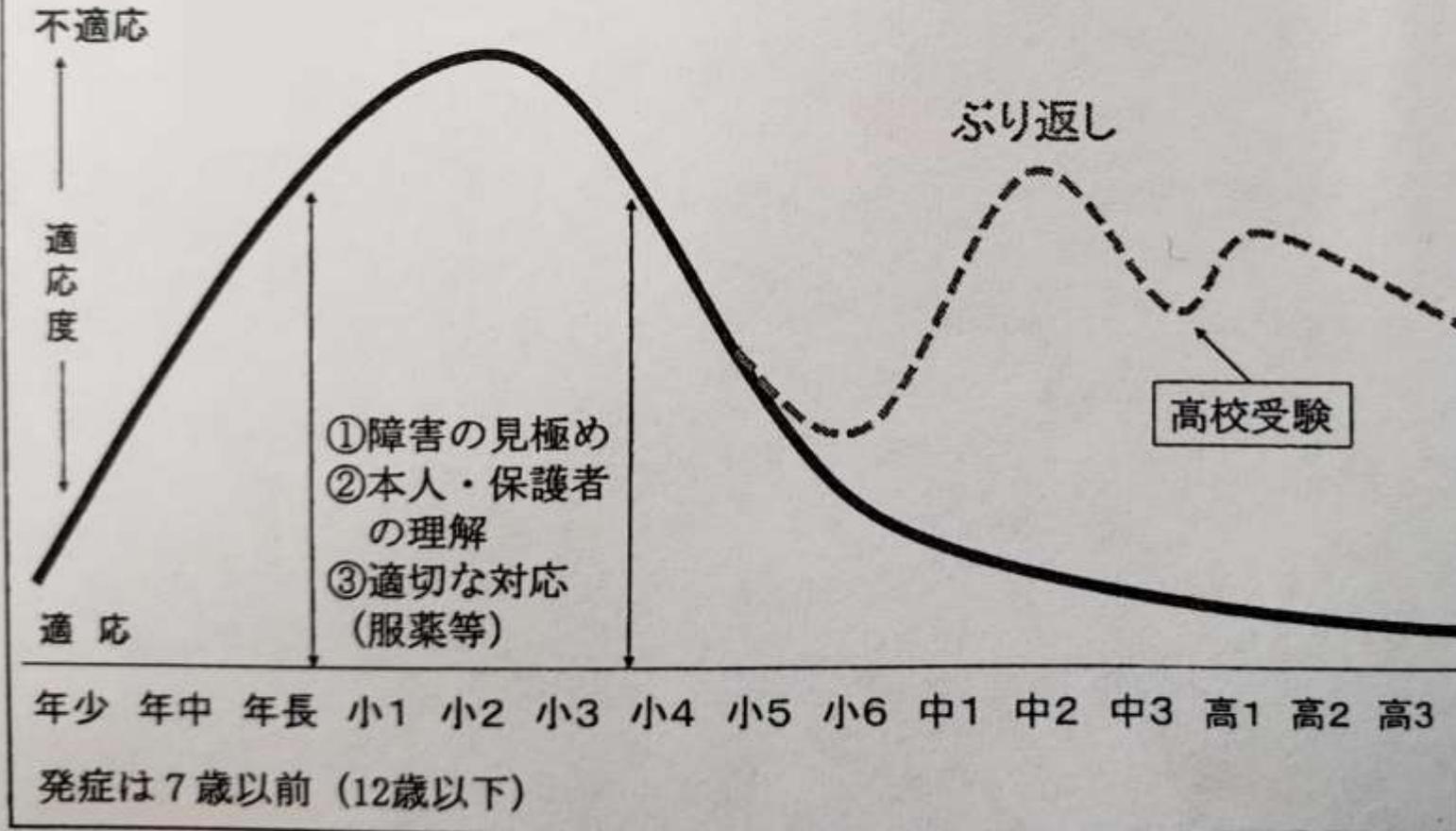
# お子さんの学習や発達で お困りの方はいませんか？



今できないから悪い。  
悪いから怒る。

今はできないが、未来  
に向けて何をするか。

# 多動衝動ADHDと外向性ASDの経年変化



出典：山形大学三浦光哉教授 巡回相談資料より

# 萩野学園で目指す生徒指導の方向性

「トラブル・~~問題~~行動＝悪」  
↓

この事象を通して、どうやって成長させるか

## Ⅱ 学力向上（本校の仮説）

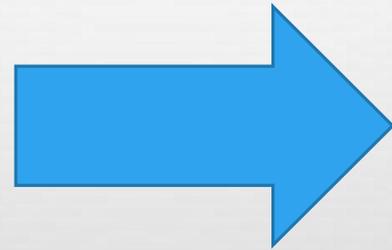
探究型の学習

+

個別学習支援

+

家庭学習の充実



学力向上

# 自学力向上にむけた9年間の見通し



1年生

- ◎ 課題を提出する習慣
- ◎ 自学の内容は週に1〜2回は、自分で選んで行えるようにする

2年生

- ◎ 勉強した時間・時刻を記入  
(見通しを持てるようにする)
- ◎ 課題を提出する習慣

3年生

- ◎ 時間の管理 (実施時間の記録)
- ◎ 自学指導 内容充実のための指導

4年生

- ◎ 分からないことを学習する意識の醸成
- ・ その日の学習計画を立てる
- ・ 授業と家庭学習を連動させる

5年生

- ◎ 1週間・月単位の見通しを持つ
- ・ 自学ノートを教科で分ける
- ・ 授業と家庭学習を連動させる
- ・ 自分の得意・不得意を知る等

6年生

- ◎ 分析する力をつけていく
- ・ 得意教科を伸ばす等
- ・ 定期テストと連動した取り組み

7年生

- ◎ 学期ごとの見通しを持つ
- ・ 時間の管理
- ・ 自己分析する力を伸ばしていく

8年生

- ◎ 受検を意識した1年間の見通しを持つ

9年生

- ◎ 受検に向けて自分で計画を立て、実行する

宿題(課題・ワーク)を現在の半分〜1/3へ

量

質

学力向上対策年間指導計画(案)

R4版

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
4月	担任団による指導	担任団による指導	担任団による指導 自学の約束事など	担任による指導 (学習カード記入指導)	7年生によるプレスタカードの記入指導		★教員チームによる個別指導強化月間	9年生によるプレスタカードの記入指導	自学力向上クラブ	自学力向上クラブ
5月						★教員チームによる個別指導強化月間	自学力向上クラブ(学年団)開始			
6月	チャレンジテスト	チャレンジテスト	チャレンジテスト	チャレンジテスト	定期テスト ★教員チームによる個別指導強化月間	定期テスト	定期テスト	絆プロジェクト(学習委員会)	定期テスト	定期テスト
7月				★教員チームによる個別指導強化月間	定期テストの振り返り・個人面談		学習交流・プレスタカードの見直し(7年生の指導)学習委員会			
8月			★2学期にむけて教員チームの支援(自学の約束事の点検)				実力テスト	実力テスト	実力テスト	
9月	チャレンジテスト	チャレンジテスト	チャレンジテスト	チャレンジテスト		★教員チームによる個別指導強化月間				
10月			4年生による学習カードの記入指導		学習交流(6年生による指導)			絆プロジェクト(学習委員会)		
11月	チャレンジテスト	チャレンジテスト	チャレンジテスト ★教員チームによる個別指導強化月間	チャレンジテスト	定期テスト	定期テスト	定期テスト	定期テスト	定期テスト	定期テスト
12月							定期テストの振り返り・個人面談	学習交流(8年生による指導)学習委員会		
1月		学習交流(2年生による指導)	学習交流(3年生による指導)	★教員チームによる個別指導強化月間			実力テスト	実力テスト	実力テスト	
2月	チャレンジテスト	チャレンジテスト	チャレンジテスト	チャレンジテスト	定期テスト ★教員チームによる個別指導強化月間	定期テスト	定期テスト	定期テスト	定期テスト	定期テスト
3月				6年生によるプレスタカード記入指導			実力テスト	実力テスト		

# テスト勉強計画表 5年生バージョン

## 第5学年 第1回 定期テスト学習計画

A組 24番

科目

80点以上を目標にしたいと思います。  
理科もしっかり勉強したいです。

社会

教科	国語	数学	社会	理科	合計
得点					
目標点	90	90	90	90	360
結果					

計画的に学習しましょう

2 生活リズムを考えよう (学習時間を赤で染める) 目標: 平日60分 休日90分以上

平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	学 校																						

3 学習を振り返り、今後の目標を持とう

◆毎日計画を立てて、学習できましたか。

振り返り

---

次回、頑張ること

---

## プレスタカード pre-Study Card

5年 A組 24番

氏名

月日	教科	国語	算数	社会	理科	外国語	読書・進出日	時間
6/13	国語	漢字の読みかた 大書きを話して	整数×小数 書きの練習 数いしり 数いしり 数いしり	社会			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1時間
6/14	国語	はなつてよ 漢字はハジメ おのれがわがた	整数×小数 数直線をかいた	社会	花のつくりの 花のつくりが 分かった。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	20分 読書
6/14	国語	漢字の小教 教科書P.14-15	整数×小数 数直線をかいた	社会	世界のつくり 教科書P.14-15		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	15分 読書
6/15	国語	漢字の小教 見立てる 説明立の読 明立の読 漢字の成 立 教科書P.14-15	整数×小数 数直線をかいた	社会	テスト直し		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	20分 読書
6/16	国語	はなつてよの テスト	漢字の小教 教科書P.14-15	社会	理科集 P.8-19		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	10分 ピアノ
6/17	国語	見立てる 説明立の読 明立の読 漢字の成 立 教科書P.14-15	整数×小数 数直線をかいた	社会	理科集 P.8-19		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	30分 ピアノ
6/18	国語	漢字の小教 教科書P.14-15	整数×小数 数直線をかいた	社会	理科集 P.8-19		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	30分 ピアノ
6/19	国語	漢字の小教 教科書P.14-15	整数×小数 数直線をかいた	社会	理科集 P.8-19		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	30分 読書
今週の振り返り							来週までの課題	
家庭学習の予定をつけて、計画的に学習できたので良かったです。								

22.6.15  
読書

22.6.16  
読書

22.6.17  
読書

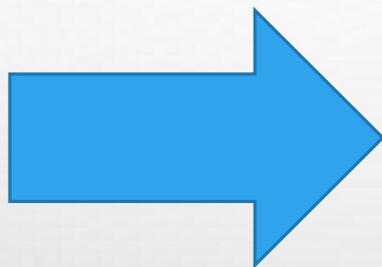
22.6.24  
読書

22.6.24  
読書

22.6.24  
読書

# 令和3年度～ 学力向上策の基本的方針

- うちのクラスでは
- うちの学年では



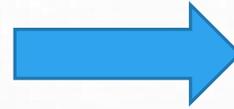
- 萩野学園では
- ↓
- うちのブロックでは
- ↓
- うちの学年(クラス)では

今までの家庭学習

## ○個に応じた学習

### ○全員一斉の課題

- ・宿題
- ・プリント
- ・ワーク等



これからの家庭学習のイメージ

## ○自分の課題にあった学習

- ・教科ごとに毎時間の学習を踏まえ、何をどのように学習するかを面談する

## ○3段階にコース分け

- 課題 A 発展コース  
B 標準コース  
C 基礎コース  
教科ごとに自己決定

総合的な学習の時間（ふるさと学習）

はぎの探究タイム

区分	前期(1~4年)	中期(5~7年)	後期(8~9年)
テーマ	ふるさとを知る	ふるさとを考える	ふるさとを生きる
重点目標	自然や文化、人に 気づき、親しみ、愛 着をもつ	交流を通して課題 解決に取り組む	考察を通して自己 の生き方を見つけ ていく
主な活動	野菜栽培 萩野探検  萩野の自慢 萩野の農業 昔語り 昭和開拓の歴史	職業体験(shin-job) 稲作体験 新庄囃子 鹿子踊り  地域の企業調べ 立志式 職場体験	いも煮振る舞い 東京でPR  企業訪問 地域への提言

# 総合的な学習

統合以前

泉田小 萩野小 昭和小

(それぞれの学区のふるさと学習)



萩野中学校  
(学区全体のふるさと学習)

統合以後

1年



9年

はぎの探究タイム

より計画的・系統的な  
ふるさと学習

# 萩野学園のコラボ学習

○9年間で多くの異学年交流を経験

○4年、7年のリーダーシップの育成

萩野学園のコラボ学習	
該当学年	学習内容
9年と8年	9年が修学旅行の旅行企画発表会を8年を招待して行った
9年と1年	入学式でのエスコート
8年と5年	授業参観での萩野の農業発表と里芋レシピの発表・試食
7年と6年	sin-job（職業体験学習）
7年と5年	プレスタカード(家庭学習計画表)の記入指導
7年と4年	外国語活動に向けての導入授業
7年と3年	新庄市について学んだことを3年生にわかりやすく伝える (3年社会科の学習)
6年と5年	はぎの探究タイムで取り組んだ「萩野鹿子踊り」の発表会
5年と4年	はぎの探究タイムで学んだ萩野の農業について4年生に発表
4年と3年	前期ブロック委員会の取り組みを3年生に引き継ぐ
4年と3年	総合的な学習の成果発表会をお互いに行った
4年と2年	はぎの探究タイムで学んだ昔語りを2年生に聞かせる
4年と1年	体力測定のリレーランを一緒にいき、1年生の測定補助
3年と前期B	3年生が、体育で学習した跳び箱の成果を発表した
3年と1年	国語の学習で、1年生におすすめ本の紹介をした
2年と1年	学校探検で2年生が1年生にビデオレター
2年と1年	おもちゃランド(生活科)に1年生の招待
縦割り清掃	1～9年生で縦割り清掃 9・8年生が1年生に清掃指導、4年生が2年生に清掃指導

# PTO (Parent-Teacher organization)

- 完全ボランティア制
- 専門部の廃止（保体部、整備部、生活指導部など）



- ① 保護者有志が実施したい企画案をボランティアセンター（ボラセン）に提案
- ② ボラセンで検討し、実施の可否の判断
- ③ 実施可となれば予算の交付
- ④ 実施後、報告書の提出

# 学校運営協議会

○年間4回の会議  
(7月 11月 1月 3月)

## 課題

・地域学校協働活動推進員  
が学校配属になっていない。

	役名	氏名	役職等
1	会長	渡部 正七	委員 2・3年度会長
2	副会長	須貝 浩	委員 昭和自治会長
3		山科 正仁	委員 市議会議員
4		大山 栄	委員 萩野鹿子踊り保存会会長
5		井上貴恵子	委員 萩野放課後児童クラブ所長
6		高橋 敏彦	委員 萩野地区公民館長
7		小野 和哉	委員 萩野はやし会長
8		加藤 晃	委員 横根山地区副区長
9		住石 進	委員 昭和自治会副会長
10		齋藤 勝明	委員 新庄市防犯協会萩野支部長
11		阿部 欽也	委員 萩野学園PTO会長
12		二戸 博光	委員 泉田保育所保護者会長
13		小林 純子	地域学校協働活動推進員(オブザーバー)
14	社教	佐藤 勝幸	新庄市教育委員会社会教育課主幹
15		鈴木 英樹	校長
16		齊藤 陽子	教頭
17		小関 雄一	教頭
18		荒川 勇一	教頭

# 義務教育学校の成果と課題

成果

>

課題

## 児童生徒の成果

- ・ 子どもの目標は9年生
- ・ 9年間で4回のリーダー経験
- ・ 後期課程の生徒の心の安定
- ・ 5年生からの教科担任  
(多くの目での見守り)



心の安定  
問題行動・不登校の減少

## 教職員の成果

- ・ 学校文化の垣根の解消  
(小中それぞれの課題の克服)
- ・ 9年間の継続性
- ・ 職員の資質の向上
- ・ 広い視野の育成

# 保護者・地域 成果と課題

## 成果

- 小中での違いがなくなった。  
(校則、指導方針など)
- 継続した指導で安心感
- 地域の防災訓練など迅速に実施
  - ・引き渡し訓練
  - ・避難所体験訓練(開設・運営)

## 課題

- 学校と保護者の距離が広がった
- 行事の精選でつながり薄い  
(学校規模が大きくなったから)

# 萩野学園の課題

## ①リセットがしにくい環境

- ・小6→中1 リセット場面
- ・萩野学園では  
4年生、7年生で

中1ギャップ解消の  
副反応

## ②特別な支援を要する児童生徒

- ・ 検査必要数 89人
- ・ 検査資格取得者 1名

検査がなかなか進まない。

- ・ 特別支援教育への理解
- ・ 検査資格取得者の配置

## 特別な支援を要する児童生徒数

### K-ABC II、Wisc-IVの検査数

**R2年度 18件**  
**R3年度 14件**

S: 検査済み。医療機関によって障がいの診断あり。

A: 検査済み。新庄市専門家チームによって障がいの判断あり。

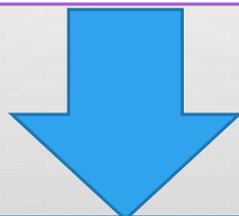
B: 早急にK-ABC II、もしくはWisc-IVの必要あり。

BC: 経過観察し、必要に応じて検査を要する。

※ 普通学級の統計							
	S	A	B	BC	小計	児童 生徒数	%
1年	3	4	1	3	11	41	26.8
2年	4	1	4	6	15	36	41.7
3年	2	0	1	8	11	37	29.7
4年	4	2	3	5	14	39	35.9
5年	3	2	3	10	18	40	45.0
6年	2	4	2	10	18	33	54.5
7年	3	3	4	9	19	46	41.3
8年	2	4	2	11	19	44	43.2
9年	1	4	0	7	12	37	32.4
	24	24	20	69	137	353	38.8

### ③ 前期課程と後期課程の制度上の壁

- ・前期課程の担任は6年生まで、7年生の担任はできない。
- ・前期課程の職員は、部活動の顧問はできない。
- ・後期課程の職員は、後期での授業＋前期での教科担任、TT授業



前期・後期 人的交流をより自由に...



ご清聴ありがとうございました。

今後ともよろしくお願ひします。

